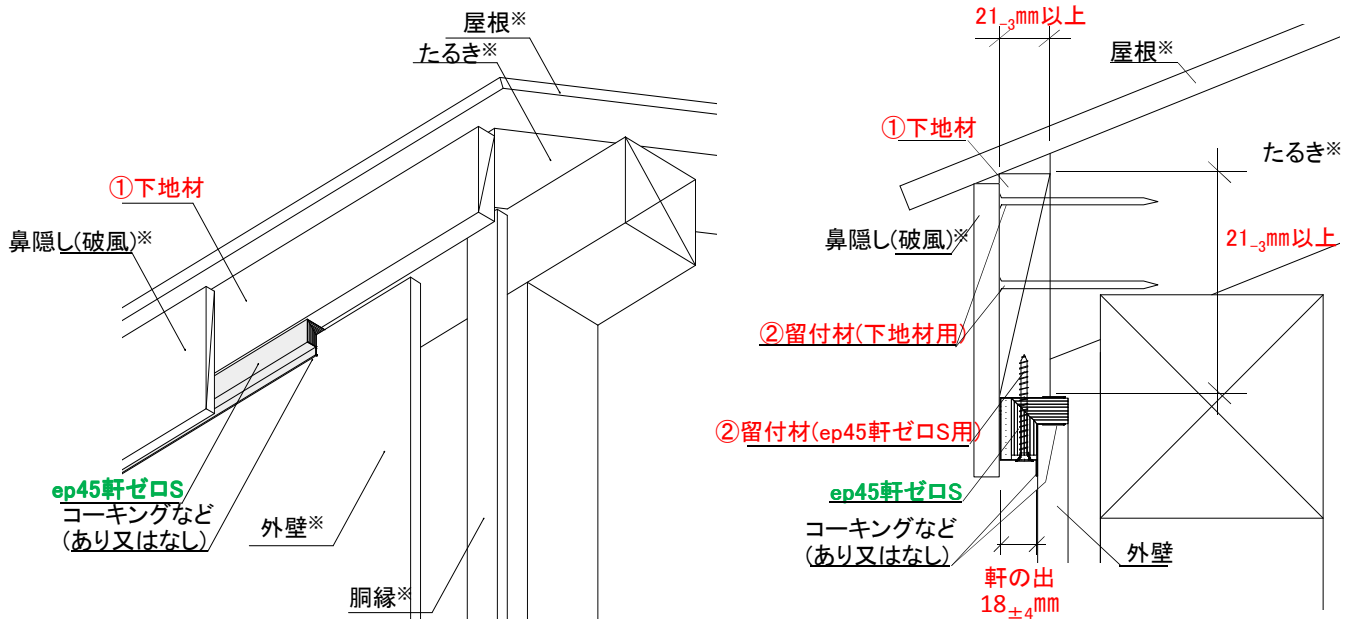


ep45軒ゼロS 認定上の注意事項

2014/10/22
日本住環境株



注)赤文字は規制が入る部分となります。※マークは評価対象外(申請者の任意)となります。

軒の出は $18_{\pm 4}$ mm (軒天換気材の厚み(公差含む))

小文字の数字部分は公差を表します。

項目	申請仕様
①下地材	<p>○材料:1)～4)の何れか</p> <p>1)日本農林規格に適合する針葉樹の下地用製材、下地用集成材</p> <p>2)日本農林規格に適合する単板積層材</p> <p>3)日本農林規格に適合する合板</p> <p>4)平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材</p> <p>○断面寸法:総厚21_{-3}mm以上 × 総高さ21_{-3}mm以上</p> <p>○密度:$0.30_{-0.03}$g/cm³以上</p>
②留付材 (下地用と軒天換気材用)	<p>○種別:1)または2)</p> <p>1)くぎ 形状:a～cの何れか a.鉄丸くぎ b.スクリークぎ c.リングくぎ</p> <p>2)ねじ 形状:a～dの何れか a.タッピンねじ b.リングくぎ c.ドリリングタッピンねじ d.木ねじ</p> <p>○材質:1)または2)</p> <p>1)鋼製 2)ステンレス製</p> <p>○寸法:胴部径$\phi 2.75 \times 50$mm以上(差込深さ:20_{-2}mm以上)</p> <p>○留付間隔:下地材用500mm以下、軒天換気材用500mm(認定上は1000mm)以下</p>

施工手順

(1)下地材の取り付け

下地材は、軒裏構造を構成する部材(たるき、柱、上枠、野地板、胴縁など)に500mm以下の間隔で留付材を用いて取り付ける。

(2)軒天換気材の取り付け

軒天換気材は、下地もしくは軒裏構造を構成する部材に500mm以下の間隔で留付材を用いて、取り付ける。留め付け材の位置は、軒天換気材の下面もしくは正面から打ち込むものとする。

(3)目地処理

軒元部の目地は、必要に応じて防水材を充てんし、隙間のないようにする。